

令和5年度（2023年度）「学校版環境ISOへの取組」好事例紹介

義務教育課

【小学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立城東小学校	水・電気・植物を大切に、紙のリサイクルを実践するという環境緑化委員会の「環境ISO宣言2023」をもとに、細かい行動目標を立てている。環境緑化委員会が行う掃除の仕方紹介、朝の「緑の活動」、リサイクル箱の設置や「一人一鉢」の花の植栽活動などが児童の学校環境に対する意識の高まりに繋がっている。熊本中央地区少年警察ボランティア連絡協議会の事業に参加し、プランターへの花の植栽活動も行った。
	熊本市立日吉東小学校	児童および職員ともに具体的な宣言項目を細かに立てており、目指す数値目標も確実に設定している。節電、節水、草花の栽培、地域に出かけての清掃活動などの取組を、各委員会や授業、ボランティア活動など学校教育全体で行っている。神社の清掃活動など、地域に出かけての清掃活動も行っている。また、それぞれの取組についての成果や課題についてもしっかりと考察できている。
山鹿市	山鹿市立めのだけ小学校	環境委員会、飼育栽培委員会の児童が環境美化に主体的に取り組んだ成果が出ている。特に、児童一人一人が自分のできる環境ISOの取組をテーマにして学校全体で取り組んでいる。また、学校だけでなく家庭、地域が一体となったエコ活動やリサイクル活動を行っている。節水の取組や雑草がない運動場にする取組等、児童の主体的な取組をホームページで各家庭や地域に発信している。
	山鹿市立菊鹿小学校	児童会（環境委員会）が中心となり、栽培活動に関する取組と、アルミ缶の回収や節水キャンペーンなどのSDGsの視点を取り入れた環境保全に関する取組を実践している。栽培活動を工夫して取り組み、活動を通してこれまで以上に自然環境に関心を持つことができた。栽培活動については、「人権の花運動」の取組の発表と同時に、市内全体や保護者、地域住民にも知らせている。
宇城	宇城市立海東小学校	全児童で学校版環境ISO宣言項目を話し合っ決定し、一年を通して数値的な目標を意識した取組を進めている。家庭や地域及び関連団体等と連携しながら農作業体験や自然を知る活動に積極的に取り組んでいる。リサイクル活動や資源の節約等に向けた意識の高揚も見られ、海東小学校校区全体で環境問題の解決に意欲的に関わろうとする様子が見られる。
玉名	荒尾市立平井小学校	環境委員会で児童宣言について話し合い、具体的な数値目標や取組が設定されている。児童の委員会活動を中心に、教師と児童が一体となって活動し、定期的に見直しと啓発を行い、意識を高めるための取組をしている。月ごとに水道・電気・エコキャップ集めの記録を取り、エコキャップについては、昨年度を上回るできている。また、家庭の協力やPTAと連携した取組がなされていて、保護者や地域へと活動の広がりが見られる。
菊池	合志市立合志南小学校	児童の委員会活動では環境・美化委員会をはじめ、学校環境に関する4つの委員会が連携して取り組んでおり、環境への取組の広がりが見られる。児童生徒及び職員の宣言項目・数値目標が具体的であり、地域の方々とも協力して取組ができており十分な成果が得られている。今後も節電や節水、環境美化についての啓発と実践に見直しを図りながら継続した取組が期待される。

阿 蘇	南小国町立市原小学校	環境委員会を中心に、環境保全等につながる取組を行い、一人一人の児童が環境整備等に取り組むやすいように工夫している。また、全校児童での花植えなど、学校全体で環境緑化活動に取り組んでいる。児童が収穫したマリーゴールドの種子にメッセージカードをつけて、南小国町主催の「きよら祭」や「きよら人権デー」で参加者に配布するなど、環境保全活動を保護者や地域へ積極的に発信している。
上益城	山都町立蘇陽小学校	「環境から学ぶ」、「環境について学ぶ」、「環境のため学ぶ」という視点から、全校児童一人一人の環境に対する意識を4S活動等につなげていく。1年生から6年生までの縦割り班で行う栽培活動や掃除、一人のときでも環境活動に取り組むやすい4S（整理・整頓・節電・節水）に全校で取り組んでいる。また、環境活動を多くの人に伝える取組として、本年度、環境省「環境教育・ESD動画100選」に応募し、認定されている。
八 代	八代市立日奈久小学校	学校の課題を踏まえて宣言項目を設定し、環境委員会を中心に取組が進められていく。また、地域との連携において、地域の清掃活動「ク地域が一体となった環境保全」と意識の高まりが見られる。また、他にもペットボトルキャップ集めや家庭への周知・啓発の成果が表れている。
	氷川町立宮原小学校	各取組の結果をグラフ化するなどして掲示され、児童の達成感・次への意欲へとつなげている。CSの方々と連携し、学校・家庭・地域の一体となった環境整備が行われている。また、学校の取組を「学校だより」等で、家庭・地域に知らせたことは、児童の自己有用感につながるとともに、家庭・地域への啓発となっている。
芦 北	芦北町立佐敷小学校	環境委員会の児童が担当クラスに、ISO宣言のチェックや環境保護の呼びかけ等を行い、児童・教職員の日常的な意識化が図られている。また、食育の一環として、芋の苗植え、豪雨災害の復旧・復興の一環として、いしよの栽培実証、環境委員会による花の栽培と町への寄贈等、地域と一体となった環境保全活動を通して、児童の環境美化意識の向上につながる取組を積極的に行っている。
球 磨	あさぎり町立須恵小学校	「節電・節水・紙節約の取組」だけでなく「一人一鉢の取組」や「縦割り班での美化作業」等に取り組む、学校をきれいにしようとする児童の意識が高まった。学期末ごとに全児童及び全職員にアンケートを行い、その結果を集会時に報告することによって環境への意識を高め、環境美化に対する実際の行動へとつなげる取組を行っている。また、以前から家庭や地域と連携した取組として、地域団体との和綿の栽培活動に取り組んでいる。
天 草	天草市立牛深東小学校	これまでの取組を周知徹底するため、掲示等の工夫を行うとともに、児童会における各委員会の分担した学校総体としての取組を実施する各委員会で、児童主体の活動が行われている。また、保護者・地域との連携を意識した活動とし、PTAによる美化作業以外にも、PTAの環境整備委員会の主催のペットボトルキャップ集めを児童と連携して実施し、学校と保護者・地域が一体となった活動が行われた。
	苓北町立志岐小学校	環境委員会の児童による「ISO宣言」、校内放送による継続した呼びかけ（毎週木曜日の給食時）、ゴミの分別状況の点検、記録等、児童が主体的に取り組んでいる。また、事務職員に毎月電気や水の使用量を確認し、校内回覧をするなど、職員との連携も図っている。職員は、環境コーナーの掲示板に「SDGsクイズ」を掲示し、児童が興味をもつことができよう取組を行っている。

【中学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立湖東中学校	整美委員会による掃除のチェックや緑化委員会が中心となって行う花の苗植えや水やりの活動などの委員会活動を中心とした取組に加え、校区にある自然を活用した授業により、生徒の環境や自然に対する意識を高めている。特別支援学級では校外学習の取組として、江津湖の水質調査も行われている。職員も節電、節水はもちろん紙の消費量削減に努めている。
	熊本市立天明中学校	校内だけではなく、PTAや地域組織との連携が充実している。長年地域と連携して取り組んでいる様々な活動を継続することで、環境保全に向けた活動が生徒主体になり、そのことが、生徒や職員の環境に対する意識の高さに繋がっている。また、今年度は総合的な学習の時間と委員会活動とを関連させて、全校でESD（持続可能な開発のための教育）の視点に立った学習活動に取り組んでいる。
山鹿市	山鹿市立鹿北中学校	環境ISOをSDGsと関連付け、「持続可能な地球を鹿北から」という視点で継続的に取り組んでいる。 生徒会が前年度の取組の振り返りを基に見直しをし、計画、実行することで、取組の進化、深化がみられる。 また、「鹿北中版SDGs」としてまとめ、学校内だけでなく、総合的な学習の時間をつかって保護者や地域住民に発信し啓発している。
宇城	宇城市立小川中学校	生徒会活動を中心に生徒が美化コンクールやリサイクル活動等に主体的に取り組み、環境ISO宣言事項について全校生徒参加の集会で共通理解を図るなど、具体的な実践へつなげている。宇城市の事業である「フードパントリー」にも積極的に参加し、保護者への呼びかけも行い、行政機関等と協力した実践を行っている。定期的に環境保全への取組等を実践することにより、生徒の意識の向上や、主体的な活動につながった。
玉名	玉名市立玉名中学校	3つの委員会の委員長、副委員長、計8名による実行委員会を立ち上げ、全校生徒に行う環境への意識調査をもとに宣言項目を定めた。日頃の実践をエコアイデアとして放送で紹介し、意識を高めた。職員からの取組も放送で提案している。また、地域の花作り部会の方々に学校に招き、指導していただいたり、一緒に苗植えを行ったりする等、地域や保護者とも活動を推進している。
菊池	大津町立大津北中学校	無言掃除コンクールやクリーン作戦など、環境委員会主催の行事を活用した取組のほか、昨年度に引き続き、ペットボトルキャップを保健委員会の呼びかけで収集した。各取組はクラスごとに記録をとったり、電気使用量や水道使用量を毎月放送したりするなどの工夫が見られる。また、生徒だけでなく、教職員にも節電を呼びかけ、学校一体となって取り組んだ結果、設定した数値目標を上回った。
阿蘇	阿蘇市立阿蘇中学校	生徒会活動（環境美化委員会・ボランティア委員会）を中心に、リサイクル運動や校内緑化活動など、具体的な取組を進めている。特に、生徒会活動を中心とした節水への呼びかけは功を奏し、水道使用量が前年比で約3割減少した。また、PTA等と連携して、制服や体育服等のリユースに取り組み、中学生と教職員、保護者、地域が一体となって環境保全等に取り組む体制づくりができています。

上益城	益城町立益城中学校	I S O宣言として、生徒10項目、職員8項目が掲げられ、各委員会を中心とした生徒の主体的な活動が行われている。美化委員会やボランティア委員会、給食委員会の活動等により、生徒の環境への意識が高まっている。職員は、印刷用紙の再利用や職員室のごみの分別、リサイクル等に力を入れている。また、学校運営協議会と連携した地域の神社の清掃活動も行っている。
八代	八代市立坂本中学校	学校版環境I S Oへの取組が、一つの委員会だけでなく、学校組織全体で行われている。すべての委員会で様々な視点から取り組むことで、全職員、全生徒の意識向上につながっている。また、各委員会での取組にとどまらず、成果と課題を整理し、次の取組へつなぐことができている。さらに、廃油石鹸を作り、家庭で活用したり、文化祭バザーで販売したりすることで、地域や家庭への啓発にもつながっている。
	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	学校総体として取り組む体制ができている。生徒が主体となった「ペットボトルキャップクスマッチ」や、環境美化委員を中心に生徒と職員が一体となった節電・節水の取組及び紙の消費量の減量化などの取組は、計画的、継続的な取組として定着している。また、「環境コーナー」の「電気・水道使用量のグラフ」は、生徒の節電・節水の意識を高めることにつながっている。
芦北	水俣市立水俣第一中学校	生徒会の整美・環境I S O委員会において、今年度のI S O宣言項目内容を検討し、数値目標を定め、全校生徒へ周知したことにより、目標達成に向けて、生徒が主体的に取り組んでいる。また、地域ごみ分別収集へ生徒が参加している。I S O宣言に対するアンケート調査を実施することで、課題を把握し、今後の具体的な取組についても考えられている。
球磨	あさぎり町立あさぎり中学校	学校版環境I S Oの取組について、環境委員会だけでなく生徒会やボランティア委員会が協力しながら宣言項目を設定し、節電・節水を呼びかけるポスターを作成・掲示したり、清掃態度チェックを行う「クリーンウィーク」を実施したりして生徒が主体的な取組を進めている。また、校内の環境整備だけでなく、地域の福祉施設に生徒が育てた花のプランターを届ける等、地域と連携した取組も実施しており、生徒の環境美化への意識が高まっている。
天草	天草市立河浦中学校	常時活動としてのペットボトルキャップ回収において、生徒会環境美化委員会を中心に、学校及び保護者・地域と連携した活動が充実しており、8か月間で1万5千個という成果が上がっている。また、家族全員参加型の「家庭版環境I S O」に取り組んでおり、家庭で取り組んだ内容を記入する表に環境美化委員が「環境家族認定印」を押して返却する評価活動を行っている。そのことにより、年度ごとの深化を目指したP D C Aサイクルが確立している。
	上天草市立松島中学校	生徒総会で、環境委員長が、I S Oについての説明を行った上で、I S O宣言項目及び数値目標を提案し、全校生徒で節電やリサイクル活動等に取り組んでいる。 各委員会での呼びかけは、朝の会、帰りの会、掃除のはじめの放送など、効果的な方法でタイムリーに行っている。 校内の活動以外に、松林整備ボランティア(2回)では、総計100名の生徒が地域の一員として参加するだけでなく、マツの下枝剪定の指導も受け、実際に剪定を行った。